

令和 4 年度 学校関係者評価

令和 5 年 2 月 2 0 日 (月)

学校評議委員 4 名

指導・助言等

- ・この 3 年生はコロナ禍過ごした 3 年間であったが学校評価アンケートで評価が高い。特に項目 8 の自習室の開放についての評価が高い。自分で計画的に学習する時間を持つ生徒が多いのではないかと感じる。文武両道で過ごし、限られた行事ではあるが満足して卒業するようである。なお、教育相談の関連から息苦しさを感じる生徒はどのくらいいるのか。中途退学、不登校の生徒はどのくらいいるのか。(回答：1 年生で 1 名、2 年生で 1 名退学した。) 生徒指導部関連で 18 歳成人に関して、主権者教育はどのように実施されているか。(回答：公民、家庭科、3 年 LHR で実施している。)
- ・生徒に対して定時制課程は全日制課程より丁寧に指導していると思う。学校が何かに向かっていく熱量は感じるが、人と人の結びつき等そういった面のケアが今後の課題ではないだろうか。
- ・SSH に関係している生徒は何%か。(回答：100%である。)
- ・その取り組みは最初からか。(回答：最初は理数科だけだが、第Ⅱ期からは学校全体の取組となっている。)
- ・他の学校もそうか(回答：うまくいっている学校とそうでない学校がある。)
- ・SSH等の取組みは素晴らしいと思う。校外とのつながり等HPでうまく広報活動をしてほしい。
- ・コロナが第 5 類になった後どのような学校行事、授業内容にしていくのか。十分検討していただきたい。
- ・SSHの取組みは充実している。大学、企業、小学生等、幅広い活動は準備等に手間はかかるが、その行事を通して気づきのある生徒もいると思う。将来にいかしていけるよう種をまき続けるのが教育である。
- ・中学生や保護者が選ぶ際にアピールできるようHP等広報活動の充実を望む。
- ・タブレットの有効活用について取り組んでいただきたい。
- ・定時制には将来につながる活動を望む。
- ・アンケート項目 31 の学校生活の満足度において、「あてはまる」が 3 年生、保護者とも 50%を超えているのは素晴らしい。項目 7・8 の「早朝学習」「自習室の開放」の結果から、自分で取り組む環境が整えられているのが分かる。項目 14・15 「部活動」「学校行事」の結果から、他者とのかわりを持ちながら成長している様子が分かる。
- ・多様な生徒がいる中で幅広く対応はしているようだが、自分でできる生徒とそうでない生徒がいる。講義形式の授業が多いなか興味を持てていない生徒もいるようである。小学校では視覚に訴える授業をしている。ICT機器を利用して動画を見せるなど興味を引く工夫を望む。

